

賃貸アパート契約



Q 賃貸アパート契約の注意点は何ですか。

A 賃貸住宅の相談の中で最もトラブルが多いのは、退去時の原状回復に関することです。この退去時のトラブルを回避するためには、契約時に、契約書面や物件の確認などを慎重にすることが重要です。下記事項を参考にしてください。

1、契約前

契約書に署名、押印する前に敷金や原状回復義務の内容、特約条項など、契約書の内容をよく読み、分からなければ納得するまで説明を求めてから契約を結びましょう。特に原状回復義務の範囲や内容、明け渡し時の清掃について確認しておきましょう。

2、入居時

物件の引き渡しを受けるときはチェックリストを作成し、物件の各所ごとの損耗などの状況や原状回復の内容について当事者が立会いの上、十分に確認しておきましょう。汚れ、破損があるときは物件の状況を平面図に記入したり、写真などで記録したりして契約書面と一緒に保管しておきましょう。

3、退去時

家主や仲介業者の立会いを求め、汚れや破損の有無を確認して入居者がすべき修繕義務の有無、範囲を契約に基づいて話し合い、合意内容を記録に残しておきます。また、修繕費用の請求を受けたら合意内容と請求内容に違いがないかなど、明細書で確認してから支払いましょう。

※くわしくは消費生活センター(☎23-1161)へ。

生活排水を減らす工夫



川や沼の水を汚染する1つの大きな原因は、私たちの家庭から出る「生活排水」です。この生活排水を減らすための方法として、例えば台所ではこんな工夫の仕方があります。

- 食事は必要な分だけ作り、飲み物は飲み切れる分だけ注ぐ
- 米のとぎ汁は植木の水やりに使う(養分を含んでいるので良い肥料になります)
- 水切り袋や三角コーナーを利用し、野菜の切りくずなどを水と一緒に流さない
- 残った油は継ぎ足して使う。また炒めものに使うなど、できるだけ捨てない努力をする。やむを得ず捨てる場合には、新聞紙などに吸わせてから「燃やせるごみ」として捨てる
- 食器を洗う前に、油污れなどをふき取る
- 食器を洗う際は、洗い桶を使用し、洗剤は適量を水で薄めて使う

川や沼の水を汚さない一番の方法は、わたしたち一人ひとりが生活排水を減らすよう心掛けることです。一人にできることは限られていても、みんなで実行すれば大きな効果が期待できます。できることから少しずつ行動に移しましょう。

※くわしくは環境計画課(☎20-1533)へ。

わが家の住宅防火対策

～コンロから離れるときは、必ず火を消しましょう～



台所で発生する火災原因のうち最も多いのがコンロによるものです。コンロ火災の原因は、「火を付けたことを忘れた」または「消したつもり

など、火を付けたままコンロから離れてしまって発生するものがほとんどです。天ぷら油は口火がなくても発火し、その温度は約370℃で、そこまで加熱されるのに掛かる時間は約23分と決して長くはありません。来客や電話が鳴ったりして、ほんの少しの間でも火の側を離れるときは、必ず火を消す習慣を身に付けましょう。出掛ける前、寝る前に火の元を確認することも忘れないでください。また、住宅用防災機器などを

積極的に活用しましょう。

出火防止に配慮した器具…安全調理器具・電磁調理器具

火災を発見するための機器…住宅用火災警報器など

※消防法の改正により新築住宅は平成18年6月1日から、市火災予防条例により既存住宅は平成20年6月1日までに設置が必要です。

初期消火、延焼防止のための機器…住宅用消火器・住宅用スプリンクラー

※くわしくは消防本部予防課(☎20-1591)へ。